第24回 ALOS-2/4観測運用調整会議
資料4-1

第320～332回帰の観測方針

報告対象期間：2026年10月12日～2027年4月11日

2026年10月15日

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
第一宇宙技術部門
衛星利用運用センター

4-1.第320～332回帰の観測方針

(1)観測目的毎の優先順位(変更無し)

観測目的毎の優先順位は以下の通り。

優先順位	要求の種類	要求内容	ユーザカテゴリ
1	緊急観測	発災後・情勢緊迫時等に政府等から要求される緊急観測	政府機関/ JAXA災害観測
2	校正検証	初期校正検証後の追加確認のための観測	JAXA校正検証
3	ミッション目的 (共通観測)	ミッション目的のために必要な観測を効率的に行うこと、観測場所や季節を考慮してグローバルに観測することを目的に策定される基本観測に沿った観測	基本観測シナリオ/ 協定ユーザ等
4	協定ユーザ、 一般ユーザ からの観測要求	共通に含まれていない政府機関などの協定ユーザおよび一般ユーザからの要求に基づく観測	協定ユーザ/一般ユーザ
5	共同研究ユーザ からの観測要求	共通観測に含まれていない共同研究ユーザからの個別要求に基づく観測	共同研究ユーザ/PI

4-1.第320～332回帰の観測方針

(2)観測シミュレーションに新規に反映した観測要求

2026年5月29日に観測要求を受付け、観測シミュレーションに反映した。要求元一覧を左記に示す。

■観測受付対象期間
2026年10月12日
～2027年4月11日
（第320～332回帰）

優先順位	要求	要求元
1	緊急観測	
2	校正・検証	
3	ミッション目的	ALOS-2プロジェクト要求としてベトナム災害監視を新規に年2回程度追加
		ALOS-4で全球10m観測を実施することから、ALOS-2での要求を削除
		地殻変動の高分解能10mの要求を削除
4	協定ユーザ、一般ユーザからの観測要求	
5	共同研究ユーザからの観測要求	

4-1.第320～332回帰の観測方針

(3)主な観測内容

(3-1)後半3か月のシナリオ （4章参照）
(1) ALOS-4に移行した観測を削除し、ALOS-2では以下の観測を実施。
①ALOS-2/4の同時観測による有用性検証のための観測（ALOS-2による左観測、SM2によるアジア域での高頻度観測）

②湿地伐採のScanSAR観測の維持
③極域観測の維持

留意事項
（1） 4月1日以降は、運用費削減のため高緯度局利用パス数の削減に基づく、観測リソースの削減により上記についても適宜、見直しが行われる可能性がある。

(2) メンテナンス運用の実施

- 2026年10月18日(月)から2026年11月15日(日)までメンテナンス運用を実施。
  この期間はメンテナンス運用のための優先観測の実施等により、今回のシミュレーション結果通りの観測とはならず、シミュレーションでは採用となっている観測も実施されないケースがある。

メンテナンス運用の結果を踏まえ、観測計画の見直しを実施する可能性があり、その際には再度、観測計画の採否を、観測による制約などをわかり次第速やかに共有します。

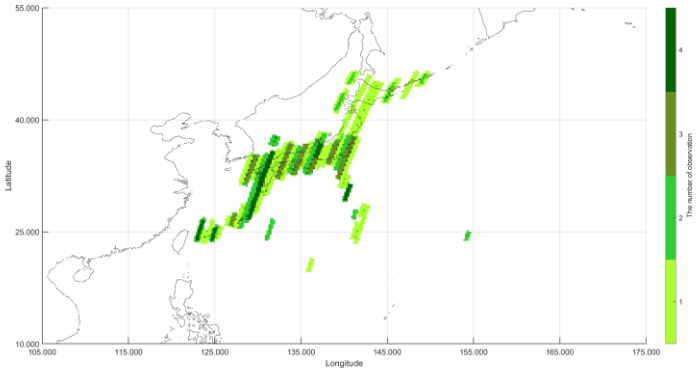
4-1.第320～332回帰の観測

(4)基本観測シナリオの観測計画(日本域/降交軌道)

第320～332回帰(2026年10月12日～2027年4月11日)の日本域/降交軌道の基本観測シナリオの観測計画を以下に示す。

回帰	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332
年	2026年						2027年						
回帰開始日	10/12	10/26	11/09	11/23	12/07	12/21	01/04	01/18	02/01	02/15	03/01	03/15	03/29
降交軌道	定期的な差分干渉観測 ＋ 海氷				海氷				定期的な差分干渉観測 ＋ 海氷				海氷
	U2 (6)L	U2 (7)L	U2 (8)L	U2 (9)L					U2 (6)L	U2 (7)L	U2 (8)L	U2 (9)L	

■U2降交軌道の観測イメージ



●高分解能3m U2-6～9 左観測　降交軌道

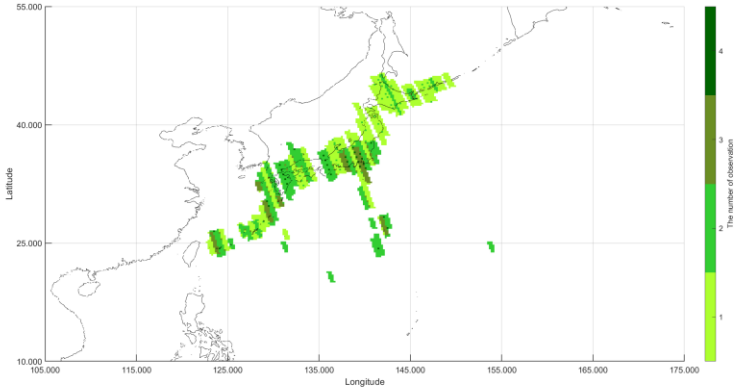
4-1.第320～332回帰の観測

(5)基本観測シナリオの観測計画(日本域/昇交軌道)

第320～332回帰(2026年10月12日～2027年4月11日)の日本域/昇交軌道の基本観測シナリオの観測計画を以下に示す。

回帰	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332
年	2026年						2027年						
回帰開始日	10/12	10/26	11/09	11/23	12/07	12/21	01/04	01/18	02/01	02/15	03/01	03/15	03/29
昇交軌道		定期的な差分干渉観測						定期的な差分干渉観測					
		U2 (6)L	U2 (7)L	U2 (8)L	U2 (9)L			U2 (6)L	U2 (7)L	U2 (8)L	U2 (9)L		

■U2昇交軌道の観測イメージ



●高分解能3m U2-6～9 左観測 昇交軌道

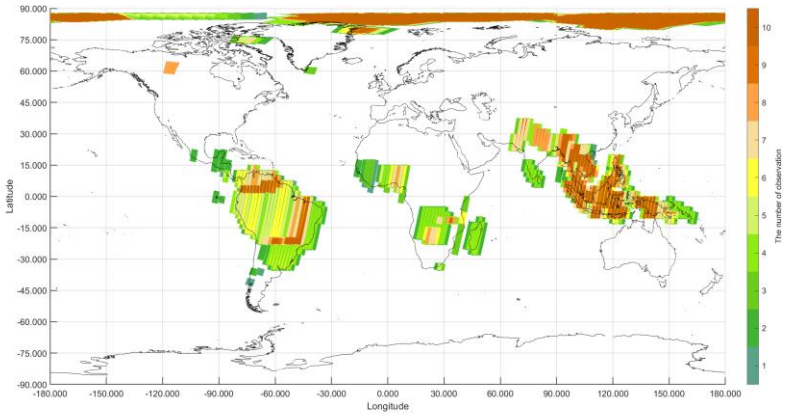
4-1.第320～332回帰の観測

(6)基本観測シナリオの観測計画（世界域/降交軌道）

第320～332回帰（2026年10月12日～2027年4月11日）の世界/降交軌道の基本観測シナリオの観測計画を以下に示す。

回帰	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332
年	2026年						2027年						
回帰開始日	10/12	10/26	11/09	11/23	12/07	12/21	01/04	01/18	02/01	02/15	03/01	03/15	03/29
降交軌道			湿地伐採2 (A)	湿地伐採1 (A)	湿地伐採2 (A+B)	湿地伐採1 (A+B)		湿地伐採2 (A)	湿地伐採1 (A)		湿地伐採2 (A)	湿地伐採1 (A)	
			W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R	

■湿地伐採の観測イメージ



●広域観測[350km]、HH+HV、右観測
●ScanSAR
●W2（26.2° ～41.8° ）

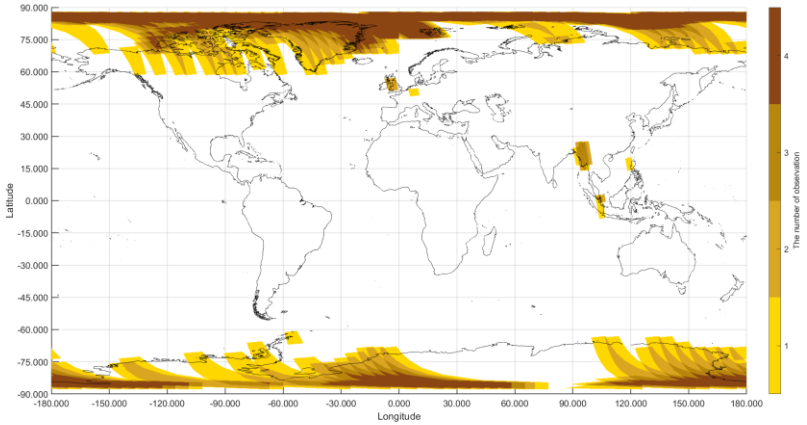
4-1.第320～332回帰の観測

(7)基本観測シナリオの観測計画(世界域/昇交軌道)

第320～332回帰(2026年10月12日～2027年4月11日)の世界/昇交軌道の基本観測シナリオの観測計画を以下に示す。

回帰	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332
年	2026年						2027年						
回帰開始日	10/12	10/26	11/09	11/23	12/07	12/21	01/04	01/18	02/01	02/15	03/01	03/15	03/29
昇交軌道								北極域	南極域				
								W2(2)R	W2(2)L				

■極地の観測イメージ



●広域観測[350km]、HH+HV、左右観測
●W2(26.2～41.8°)